

学校番号	2004
------	------

令和4年度 理科

教科	理科	科目	地学	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	地学 改訂版 (啓林館)						
副教材等	センサー地学 改訂版 (啓林館)						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学基礎で学習した内容をさらに深く学習し、地球や宇宙に関する現象について総合的に学びます。グループワークを通して論理的に自然現象を説明できる力を身につけ、問題演習を通してグラフやデータを読み解く能力を身につけます、宇宙や地球の様々な現象に興味を持ち、自ら学び取る積極的な姿勢で挑みましょう。

2 学習の到達目標

- ・地球や宇宙に起る現象についての概念や原理、法則の理解をさらに深める。
- ・地球と宇宙に関する事柄を分析的・総合的に考察する能力と態度をさらに磨き、地球や宇宙に関して幅広く学習する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地球や宇宙に関する現象に興味・関心を持ち、それらを知るだけでなく、分析的・総合的に考察する総合的な態度を身に付けている。	地学に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見出し、解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫するための総合的な能力を身に付けている。	実験で使用する装置・器具そのものや実験から得られた結果を正しく取り扱うことができ、実験で起る様々な現象を見逃さない総合的な観察力や処理する方法を身に付けている。	地球や宇宙に起る現象についての概念や原理、法則の総合的な知識・理解が身についている。
評価方法	・授業に向かう姿勢 ・内容に関する関心 ・提出物の提出状況 ・自己評価&相互評価	・探究活動の発表 ・グループワークの取り組み ・学習の取り組みをまとめたレポート ・提出物	・実験器具などの取り扱いの状況 ・グループワークの取り組み ・学習の取り組みをまとめたレポート	・定期考查 ・小テスト ・提出物

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	学習項目	学習内容	主な評価の観点				生徒の到達目標	評価方法
			a	b	c	d		
1学 期中 間	固体 地 球 の 概 観 と 活 動	地球の概観	○			○	a. 固体地球の概観と活動や地球の歴史について感心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. プレートテクトニクスと地球の活動のつながりや、地球の歴史の連続性について理解し記述できる。 c. 地球の活動や地表の変化と地層に関する実験を行い、現象を観察し、内容を的確に記録・整理している。 d. 重要語句を記憶するだけでなく、各内容の根幹を理解し、それぞれのつながりを整理できている。	小テスト レポート 取り組み 提出物 定期テスト
		プレートテクトニクス	○	○		○		
		地球の活動	○		○	○		
1学 期末	地 球 の 歴 史	地球の変化と地層	○		○	○		
		地球・生命・環境の歴史	○	○		○		
		私たちの日本列島	○			○		
2学 期中 間	大 氣 と 海 洋	大気の構造	○			○	a. 大気と海洋、宇宙の構造について感心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. 大気や海洋の運動を地球規模の循環として捉え、記述できる。恒星の進化を一連の流れとして理解し、記述できる。 c. 大気と海洋や宇宙の構造に関する実験を行い、現象を観察し、内容を的確に記録・整理している。 d. 重要語句を記憶するだけでなく、各内容の根幹を理解し、それぞれのつながりを整理できている。	小テスト レポート 取り組み 提出物 定期テスト
		大気の運動	○	○		○		
		海洋と海水の運動	○	○		○		
		機構変動と地球環境	○		○	○		
2学 期末	宇 宙 の 構 造	太陽系の天体	○			○		
		恒星の性質と進化	○	○		○		
		銀河系と宇宙	○		○	○		
3学期	全範囲	各分野の演習と探究的活動	○	○	○	○	a. 地学全般に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. 各分野の連続性を理解し、記述できる。 c. 抜粋した分野の探究的活動を行い、現象を観察し、内容を的確に記録・整理している。 d. 各内容の根幹を理解し、それぞれのつながりを整理できている。	小テスト レポート 取り組み 提出物 定期テスト

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度
c:技能

b:思考・判断・表現
d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けています。